

8/20

夏休み こども議場見学会を開催しました！



議員と一緒に議会に関する施設を見学し、議場では〇×クイズや質問コーナーを通して、議会の仕組みや役割について楽しく学んでもらうことができました。

※詳しい内容は17ページへ！

目次

令和6年度決算認定	2
決算認定 Q & A	4
9月定例会	7
委員会活動報告	8
議長の動向	10

一般質問 〈郡上市の課題を問う〉	11
クイズの答え	16
夏休み こども議場見学会	17
クイズコーナー・編集後記	18

市長体制の第一歩となる決算

決算の概要

令和6年度は、山川市長の新体制のもとでの初めての決算となりました。

一般会計は歳入323億4687万円、歳出311億4936万円で、差引11億9751万円となりました。

市税は定額減税の影響などで約2億円減収となったものの、国庫支出金や地方交付税の増加により歳入全体は前年度比で約8億円増加しました。

一方で、道路除雪経費が大幅に増加したほか、経常経費全体も膨らみ、経常収支比率は87.3%（前年度比+0.4pt）と上昇し、財政構造の硬直化が進んでいます。

事業の重点化や見直しを行い、将来世代に負担を残さない持続可能な市政に向けた一歩を踏み出した年度となりました。

令和6年度 各会計の決算額

一般会計	歳 入	323億4687万円 (8億8472万円増額)
	歳 出	311億4936万円 (8億6191万円増額)
特別会計	歳 入	117億2602万円 (2億6436万円増額)
	歳 出	113億1702万円 (2億4560万円増額)
水道事業会計	純利益	4960万円 (11万円増額)
下水道事業会計	純利益	4490万円 (403万円減額)
病院事業会計	純利益	△1億8476万円 (2億1533万円増額)

※金額の△はマイナスを表しています。

※（ ）は令和5年度の決算額との比較です。

※水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計は一般会計からの繰入れを含みます。

令和6年度
決算認定

市民とともに歩む、新

産業・雇用・観光振興

●大矢元工業団地の整備を見直し、進出企業の決定後に着工する方式へ転換した。

●森林経営管理事業を実施し、災害リスクの高い森林の整備を進めた。

●郡上おどりや白鳥おどりの観光キャンペーンを展開し、来訪者数の回復につなげた。



令和6年度より、新たに開催された「白鳥おどりin越前おおの」の様子(道の駅「荒島の郷」)

環境・防災・社会基盤

●雇用対策推進事業を実施し、市内企業と若者のマッチングやインターンシップを推進した。

●将来の財政負担軽減を図るために、クリーンセンター更新事業

の見直しを行った。

●環境保全推進事業を継続し、プラスチックごみ削減や食品ロス削減に取り組んだ。

●令和7年1月～2月の豪雪時の除雪作業を重点的に実施し、早期にライフラインを確保することとで、市民生活の安全を図った。

●高規格救急車を更新し、防災・救急体制を強化した。



令和6年度更新した高規格救急車

健康・福祉

●郡上偕楽園の整備規模を縮小し、介護人材や財政負担を考慮した現実的な整備をした。

●大和町の小学校統合にあわせ、放課後児童クラブを開設し、新たに子育て拠点環境を整備した。

●妊婦から子育て期の切れ目ない母子の支援を行うため、出産応援ギフト・子育てギフト(各5万円相当)を支給した。

●おもつのサブスク事業を推進し、子育て家庭や保育士の負担を軽減した。

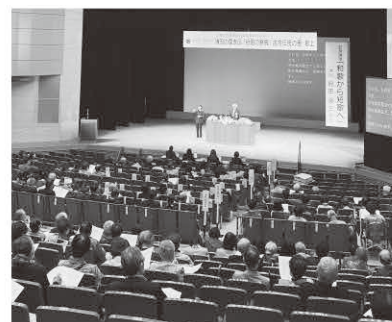


おもつのサブスクを利用する保育園のおむつ置き場

教育・文化・人づくり

●総合スポーツセンターの空調を更新し、利用環境を改善した。

●清流の国ぎふ「短歌の祭典」古今伝授の里・郡上を開催し、地域文化を発信した。



清流の国ぎふ「短歌の祭典」古今伝授の里・郡上 記念講演の様子

●「東氏館跡及び篠脇城跡」の国史跡指定を記念して、郡上東氏記念フォーラムを開催した。



東氏館跡及び篠脇城跡(大和町牧地内)

自治・まちづくり

●ふるさと納税返礼品を拡充し、地域産業振興と自主財源確保につなげた。

●市有施設の省エネ改修やZEB化を進め、環境負荷低減と光熱費削減を図った。

決算認定特別委員会 主な審議内容 Q&A

委員長に長岡文男委員、副委員長に山田智志委員を選出し、9月8日、9日、10日の3日間にわたり審査しました。

本会議最終日に委員長が報告したのち、採決し認定しました。

歳入

Q 賃貸などの事業用の大規模なリフォームの固定資産評価替えは。

A リフォームによって価値が上がるがあつても、その把握は困難であり、実質面積が変わらない限りは、固定資産評価替えは行っていない。

歳出

Q 移住・定住推進事業で、窓口に304件の移住相談があり、その内10組15人が移住したが、その評価は。

A 窓口を通さないケースを含め、令和6年度は58世帯101人の移住を把握している。この相談活動により最終的に移住に繋がったものと考えている。

Q 保育人材確保及び保育園管理運営について、執行率が低いのはどのようなことが要因なのか。

A 保育人材確保事業は2年間、

保育補助者としての実務を経て

保育士の受験資格が得られる事業である。予算は1年間の補助基準額を計上していたが、雇用期間が見込みよりも短くなったため執行率が低くなった。また、要支援の園児に追加する会計年度任用職員の人数も不足していることなどで執行率が下がっている。

クラス編成の工夫や登録保育士の協力で、不足の部分をぎりぎりのところで回している。

Q 小学校統合などにより使われなくなった教職員住宅の利活用は。

A 小学校統合に加え、住宅の経年劣化が著しいこと、自宅から直接通勤が増えたことなど、入居・利用率は全体的に減少の傾向にある。

今後は、公共施設適正配置計画に基づき、民間の活用も含めて検討している。

Q 学校給食における食材の地産

地産について、市内産食材の比率はどのような。何とか50%を目指してほしいが、実態は。

A 食材の市内産率は31%から13%へと大きく減った。天候不順や生産と消費の時期がずれ、安定供給が難しいことなどが要因だが、今後は郡上旬彩館をネットワークの要にして、何とか50%を目指したい。



Q 図書等整備事業について、資料や図書の選定基準は。

A 方針（基準）は合併時に作られた。図書館の司書やスタッフが定期的に選書の会議を行っている。市では購入図書の50%以上を児童書や絵本などに充て、子ども図書の充実が特徴になっている。

Q 観光振興目的の2次交通対策事業（八幡一丁目間）の利用実態と評価は。

A 昨年度66回の運行（要予約）



現在の郡上市民病院

A 公立病院の9割が赤字経営という中で、本市も産婦人科や小児科など、不採算部門を抱え、経営は非常に難しい。しかし、それを守っていくのも公立病院の責務。現在コンサルタントの支援を得て、今後3年間の経営改善計画（病院改革）に着手している。

Q 市民病院について、一般会計から多額の繰入金が入っているが経常収支はマイナス1億円。経営改善の余地はあるのか。その評価は。

に対して181名の利用実績。この運用費用に342万円を使うべきかどうか。令和8年度予算を作成する上で十分考えたい。

総務常任委員会

テーマ「交流・連携による

まちづくり」

大都市ネットワーク構築・関係人口創出事業

Q 郡上藩江戸蔵屋敷をはじめ、郡上ファンを獲得するために行った事業は。

A 令和6年度はスクリーン印刷と盆踊りを中心に据え、都市部の郡上ファンなどの参画を得ながらイベント開催、ウェブやSNSでの情報発信を行った。9月には東

京池袋で「白鳥おどりin池袋」を開催。来場者は2500人。



白鳥おどりin池袋2024

郡上市議会では、各常任委員会でテーマを決めて行政評価を行っており、テーマに関連する事業について決算認定特別委員会において委員長が代表して質問しました。その答弁を参考に、委員会で評価を取りまとめ、必要な事項は議会からの政策提言として市長に提言する予定です。

Q 事業の効果測定と費用効果は。

A 効果を把握できる数値としてふるさと納税が挙げられる。令和4年から2年以上続けられての市への寄附者は3965人あり、東京郡上人会の参加者からも毎年寄附を得ている。

W ークーション推進事業

Q 企業の取組み事例と郡上市が期待する効果は。

A 民間が行っているプログラムへの企業の参加など、短期間の滞在事例がほとんどで、W ークーションをきっかけとする企業の拠点設置事例はなかった。

Q 今後の展開は。

A 郡上でもW ークーション滞在が可能であることを引き続き情報提供していく。また、国の二地域居住促進法を受けて、国の財政支援などを活用した受け入れ体制の検討などが必要。

産業建設常任委員会

テーマ「次世代に繋ぐ活力ある郡上の産業の構築を目指す」

空き店舗等活用事業

Q 年間の事業実績が少ないが、条件や制度緩和で実績の増加は望めるか。

A 継続的な営業の確保や市街地の活性化などに資するといった目的を果たすことができるかといった課題があるため、基本的には条件緩和措置は想定していない。

しかし、より効果的な支援を実現するために、改善に向けた研究を進めていきたい。

Q 空き店舗と空き家に関する情報は関係団体と共有しているか。

A 情報の収集と管理は「郡上・ふるさと定住機構」が担い、利活用の相談は「郡上市産業支援センター」が窓口となり、ふるさと定住機構へ引継ぎを行っている。加えて、補助事業の説明のほか、商工会と市との連携により、事業に取組まれる方をオ ールラウンドに支援している。

Q 関係機関と連携し、該当店舗の掘り起こしの強化と、概要が分かる「空き店舗バンク」のような仕組みは考えているか。

A 既存の空き店舗に加え、空き店舗予備軍の掘り起こしが重要であり、そのような意味では、「空き店舗バンク」といった情報収集・発信の機能は必要だと感じている。

物件探しや資金調達といった課題に対して、関係機関との連携による支援体制を強化し、本事業の事業効果を高めたい。



相談窓口になる郡上市産業支援センター

文教民生常任委員会

テーマ「障がい者（児）福祉の充実」

障がい者地域生活支援事業

Q 障がい者の自立支援について、民間事業所との調整や将来的な見守り支援の考えは。

A ハローワークなどと協力して民間企業での障がい者雇用や、一般就労へ繋げる支援を行っている。今後、他自治体との連携や国への働きかけも必要である。見守り支援については、相談支援事業所の支援や社会福祉協議会が実施している日常生活自立支援事業があるが、成年後見制度も活用しながら地域共生社会の実現が必要と考えている。

身体障がい者福祉関係団体補助金事業

Q 支援体制の強化と今後の支援方法は。

A 団体への加入促進については、市の窓口で手帳を交付する際などに情報提供を行っているが、団体の活動内容とニーズの乖離を解消する必要がある。

今後、市が実施する各種アン

ケート調査の結果を団体へ情報提供し、新規加入に繋げていきたい。

社会福祉協議会など支援関係団体と連携して取組む必要がある。

児童発達支援事業

Q 保護者支援策と事業者参入の考えは。

A 保健師や児童家庭課との情報共有、園や学校との会議などを通じて連携し、必要に応じて面談や地域支援の紹介を行っている。

今後、利用希望者のニーズに応じた受け入れ体制を模索しながら、必要に応じて事業者参入も検討したい。



令和6年度 歳入歳出決算審査意見書（抜粋）

市長は前年度の決算書を議会に提出する前に、地方自治法などに基づいて監査委員に審査を依頼しています。

2名の監査委員が、計数に間違いがないか、法令等に従って適切に予算が執行されたか、それぞれの事業の処理が適切で問題点がなかったか等を書類で確認し、また、直接現地を見て審査を行い、審査の結果を決算審査意見書としてまとめ市長に提出しました。

詳細はホームページに掲載していますのでご覧ください。

一般会計・特別会計

山川市長新体制のもと、若い世代が活躍できる社会の実現、公共施設の適正配置、医療改革などの施策が展開されたが、選択と集中による事業見直しを進め、健全な財政運営の維持に取組まれたい。

企業会計

水道事業会計では、施設の老朽化に伴い有収率の低下が懸念されるため老朽化した管路等の計画的、継続的な更新が望まれる。

下水道事業会計では、下水道統合整備事業がいったん区切りを迎えるが、引き続き持続的な下水道サービスの提供に努められたい。

病院事業会計においては慢性的



決算審査意見書
全文はこちら↓



な資金不足状態により、地方公共団体財政健全化法における資金不足額が初めて発生するに至った。郡上市民病院では経営改善等支援業務を委託しており、早急に業務の見直し・抜本的な経営の見直しを進め、地域の中核を担う医療機関としてその役割を果たされたい。

財政健全化判断比率等

地方債の新規借入額の抑制や、交付税参入率の高い地方債の活用など、市債残高の着実な縮減などに取組み、健全な財政運営に努められたい。

郡上市監査委員 神谷 公眞
田代 まさよ

9月定例会

人事案件

(全会一致)

●人権擁護委員候補者の推薦

齊藤裕子(八幡町) 任期3年

高橋 等(美並町) //

毛利智見(和良町) //

条例の全部・一部改正

4件

(全会一致)

●郡上市職員等の旅費に関する条例の全部を改正する条例

①旅費の支給対象の追加及び手続きの簡素化等

②旅費の計算等に係る規定の見直し

③市費の適正な支出の確保

●郡上市下水道条例及び郡上市水道事業給水条例の一部を改正する条例

給水装置工事及び排水設備工事に関して、災害その他非常の場合において、管理者が認めるときは他の市町村長の指定を受けた工事事業者等による工事を特例的に認める規定を加える

●郡上市保健センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

白鳥保健センターの老朽化等により、郡上市公共施設適正配置計画に基づき保健センター機能を白鳥庁舎へ移転する

市道路線の認定

1件

(全会一致)

●八幡・美並地域 4路線

道路網再編や主要地方道大和美並の改良、一般県道白山美濃線の改良に伴い、旧道となる区間について県から移管を受けるため、新規路線として認定

令和7年度一般会計補正予算

(全会一致)

6億3186万円増額

主な補正予算の内容

●災害対策事業費

全国瞬時警報システム(Jアラート)の受信機更新等業務委託・旧美並庁舎譲渡に係る震度計移設工事

1005万円増額

●社会教育施設整備事業

ぎふ木遊館サテライト施設工事

監理業務委託・施設整備工事

1億9478万円増額



木遊館館内の完成イメージ図

●現年補助災害復旧事業

令和7年6月23日から24日発生した豪雨災害に係る補正

3億2400万円増額



大和 大間見2林道
災害状況(発生当時)

令和7年度病院事業会計補正予算

(全会一致)

●郡上市民病院事業経費

策定した経営改善計画を確実に

実行するためにコンサルタント会社を支払う業務委託料

649万円増額

請願

(賛成少数で不採択)

●「消費税減税を求める意見書」の国への送付を求める請願書

陳情

(全会一致で採択)

●免税軽油制度の継続を求める陳情書

意見書

(全会一致)

前項の陳情を採択したことを受け、意見書を国へ提出した。

●軽油引取税の課税免除制度の継続を求める意見書(要約)

観光業、農林業、建設業など道路を使用しない機械燃料の軽油が免除される軽油引取税の課税免除制度は、令和9年3月までの限定的な措置であるが、この制度が廃止されると本市のような中山間地域の産業の柱である冬季観光産業や農林業などの経営において大きな負担を強いられることとなり、地域経済に計り知れない影響を与えることから、現行の制度を継続されるように国に求める。

総務常任委員会

郡上ケーブルテレビとの意見交換会

6月19日、市と郡上ケーブルテレビの運営の指定管理契約を結んでいる(株)郡上ネット代表者と、今後の郡上ケーブルテレビのあり方について意見交換を行った。

運営状況として、インターネット利用者は増えてきたが情報技術の進展やニーズの多様化に人材の確保が難しいことや、人口減少によって今後加入者の増加は、多くは見込めないこと、老朽化した設備の保守・更新には多くの予算がかかることなどの課題があるとのことだった。

市では、指定管理から民間移行への方針を打ち出しているが、慎重に議論し市民サービスの低下とならない方向性を出す必要があると感じた。

消防特別点検と意見交換会

8月1日、郡上市消防本部にて消防特別点検(整列、服装、手帳など)を行い、「消防救助技術東海地区指導会」に出場した「ほくく救出訓練」や、泡消火剤放水銃を使用した警防は日頃の練習を発揮された非常に素晴らしいものであった。

意見交換会では、効率的な勤務体



警防訓練を行う隊員



消防特別点検の見学の様子

系のあり方や、女性消防士の採用による中での職場生活環境の向上などの意見があり、人材不足や働き方改革における雇用のあり方や環境整備の取組みの必要性を感じた。

産業建設常任委員会

郡上市商工会との意見交換会

産業建設常任委員会では、商工会役員との意見交換会を開催した。

商工会からは令和6年度事業実績と令和7年度の計画について詳細な説明を受けた。

事業の中で、さまざまな対策を独自で実施されており、後継者問題では事業承継センターを設け、承継希望者とのマッチングに力を入れている。

また、新しく事業を始めてもらうための創業塾を開き、新規事業者の育成にも努力されていた。

会員の方々の知識向上のための講習会・研修会を積極的に行っており、多くの会員が自己研鑽に努められていることは素晴らしい姿勢だと感じた。

各支部の支部長からは、地域の課題などの説明を受けた。その中で出てきた課題として、人口減少による労働力不足で外国人を採用しているが、その人達の宿泊施設が不足している件や外国人観光客への対応で多国語の会話が必要になるということ聞いた。

今後、関係人口を創出し、市内の人口を増やし、市内での消費の活性化対策や移住促進だけでなく、市外に出た若者たちにふるさとへ戻ってもらえる環境づくりなどを進めると聞いた。

さまざまな問題があるということを感じた。今後の活動に参考になる意見交換会になった。



郡上市商工会との意見交換

事業承継支援センター
公式ホームページは
こちら↓



委員会活動報告

文教民生常任委員会

本委員会では、7月29日から30日の1泊2日で、兵庫県内において行政視察を行った。

7月29日▼兵庫県明石市

障害者に関する条例について

明石市では「明石市障害者に対する配慮を促進し誰もが安心して暮らせる共生のまちづくり条例」と「手話言語・障害者コミュニケーション条例」の取組みについて説明を受けた。手話通訳士を職員として採用し、研修や検定費用を助成する仕組みは、行政の対応力を高める有効な方策である。

さらに、タブレットを用いた遠隔手話通訳や、商業者・団体による合理的配慮への助成制度を整備し、市民全体で支える共生社会の実現を目指している点は注目された。

本市においても誰一人取り残さない理念を実現する条例や継続的な支援体制の必要性を強く感じた。

7月30日▼兵庫県丹波篠山市
子ども第三の居場所について

アグリステーション丹波ささやまでは、旧保育園を改修し、多世代交流と子育て支援の拠点として運営さ



アグリステーション丹波ささやままでの様子

れるキッズステーションを視察した。遊びと学びを融合させた空間づくりに加え、子どもが施設内での手伝いを通じて得たポイントをお菓子に交換できる仕組みなど、創意工夫に富んだ活動が展開されていた。学生や外国人ボランティアも加わり、世代や文化を超えた交流が育まれている点は大きな学びであった。

一方で、補助金終了後の運営継続が課題であり、行政は民間事業者の先進的な挑戦を後押しする立場として支える必要があることを実感した。以上の成果を市の福祉・教育政策に活かしていきたい。

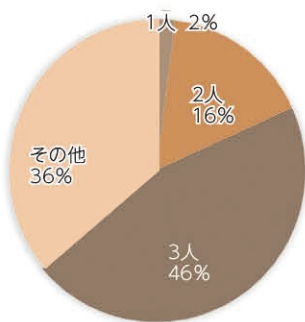
議会改革特別委員会

郡上市議会議員定数に関するアンケート結果

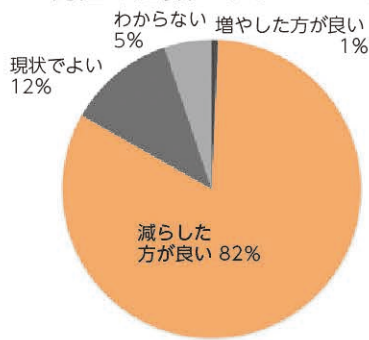
本委員会では、次期選挙に向けて議員定数などの調査・検討を進めている。本年5月に実施した「郡上市議会議員定数に関する市民アンケート」の結果について概要を報告する。

▼議員定数について

減らす人数について



現在の定数18人について



減らした方が良いという回答が大多数であった。減らす人数については「3人」が最も多く、その理由としては、人口減や財政に関するものが挙げられていた。

▼アンケート回答者について

回答数	437件 (うち有効数430件)
性別	男性68%・女性28%
年代別	60代・70代が多い
地区別	白鳥、八幡、美並の順に多い

▼議会活動等について

議会に期待していることは、議員の資質向上や行政への提言などを求める声が多かった。

また議員活動が見えづらいという声もあり、活動の見える化や資質向上が必要であると考えられる。

今回のアンケート結果や、これまでに開催した意見交換会の意見を参考に、令和8年3月の最終報告を目指し、議員定数の見直しを進める予定である。



郡上市HP
「議員定数に関するアンケート」
【結果公表】

濃飛横断道整備促進特別委員会

濃飛横断自動車道の計画沿線に位置する中津川市・郡上市・下呂市・東白川村の議会により構成する濃飛横断道・三市一村議会委員会合同会議は、令和7年度の当番市が本市であり、森藤文男議長が会長を務めている。

8月4日には、郡上市役所で濃飛横断道・三市一村議会委員会合同会議第2回幹事会を開催し、要望活動等について協議を行った。

10月14日には、郡上市総合文化センターで濃飛横断道・三市一村議会委員会合同会議を開催し、要望活動等の決議を行うとともに、東海旅客鉄道(株)中央新幹線岐阜東工事事務所長、岐阜県リニア推進事務所長、国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所長、岐阜県下呂土木事務所長による講演が行われた。

講演では、「中央新幹線の進捗状況について」、「リニア中央新幹線を活用した地域づくりについて」、「道路行政にまつわる最近の話題」、「濃飛横断自動車道の進捗状況について」の4つのテーマにわたって説明がなされ、参加した議員からは積極

的な質疑応答が行われた。



濃飛横断道・三市一村議会委員会合同会議で挨拶する森藤議長

また、7月末には、早期完成に向けた気運を醸成し、事業促進を促す取り組みとして、八幡町入間地内に地元自治会と市の連名による看板が設置された。

本特別委員会の活動を通じ、「堀越峠道路」の早期工事着手、「和良工区」の早期開通、「八幡工区」の早期事業化に向けて、引き続き関係機関などに対し要望を行っていききたい。



八幡町入間地内に設置された早期完成促進看板

国への要望

濃飛横断自動車道事業促進期成同盟会要望活動

濃飛横断自動車道事業促進期成同盟会と合同で国土交通省中部地方整備局、国土交通省、財務省、国会議員に対する要望活動が実施され、濃飛横断道・三市一村議会委員会合同会議会長として森藤議長が参加した。

日程 令和7年8月6日・8日

内容

・「堀越峠道路」の早期工事着手及び「和良工区」の早期開通への支援、「八幡工区」の早期事業化への支援など。

郡上市要望活動

事業の推進や早期事業化など来年度予算確保に向けて、県議会議員及び市長とともに、議会から議長と産業建設常任委員会委員長が参加し、以下の要望活動を行った。

日程 令和7年9月30日

内容

・東海北陸自動車道「飛騨清見IC～白川郷IC間」のうち、令和6年度に事業化された43kmの区

間の事業推進と未事業化区間の早期事業化、飛騨トンネルを含む11.9kmの準備調査候補箇所については、事業化に向けた準備調査の推進。

- 一般国道156号「郡上大橋」架替の事業推進。
- 一般国道156号「白鳥町大島地内」歩道整備の事業推進など。
- 一般国道156号雨量規制区間解除、規制基準緩和に向けた防災工事の事業推進。
- 一般国道156号の冬期間における除雪対策等による安全通行の確保など。



中部地方整備局での要望活動

一般質問

郡上の課題を問う



あなたの声を市政に

一般質問とは、市の行政全般について、議員が市長をはじめとした執行機関に、質問を行い見解などを求めることです。9月定例会の一般質問に13名の議員が登壇しました。質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

※下記の表中、☒ がある内容を掲載しています。全ての質問は次ページからの各議員欄にある二次元コードから Youtube にてご覧いただけます。



郡上市議会の
YouTube

一般質問一覧

	議員名	質問事項
1	蓼島 正人	☒ 1. 令和7年度施政方針について
2	野田 かつひこ	☒ 1. 保育園送迎バス廃止の経緯は ☐ 2. 子ども版「防衛白書」の取り扱いは
3	田中 義久	☒ 1. 市民の生活安全の確保について（ダニ対策） ☒ 2. 森林環境譲与税事業の2事業の進捗について ☒ 3. 移住定住振興プロジェクトの推進について
4	長岡 文男	☒ 1. DX推進と業務効率化について
5	山田 智志	☒ 1. 地球温暖化対策推進法に基づいた対策と取組
6	清水 敏夫	☐ 1. 高齢者シェアハウス整備の市の計画は ☒ 2. 市民が所有する不動産の相続放棄の対応は
7	和田 樹典	☒ 1. 郡上踊りに関する事

	議員名	質問事項
8	北山 浩樹	☒ 1. 林道整備と森林活用による市の未来について ☒ 2. 指定管理者制度と公共施設の未来について
9	みずの まり	☒ 1. 和良地区の「はざこ」について
10	原 喜与美	☒ 1. 市内の米の需給状況と今後の対策は ☐ 2. 市の重要なデータの保管体制は
11	有井 弥生	☒ 1. 自治会の持続可能な運営について ☒ 2. 指定管理者制度と公共施設の未来について
12	田代 まさよ	☒ 1. 学校教育について ☒ 2. 図書館について
13	大坪 隆成	☒ 1. 日常生活用具給付事業の見直しについて ☐ 2. 指定管理者制度と公共施設の未来について

※一般質問のページに関しては、各質問者の責任で掲載しております。



**少子化や出生数の低下が郡上
市政に及ぼす影響については**
人口減少克服へ市民と
もに持続可能な郡上を目
指す



本市の出生減少による人口減と施策について市長の考えは

山川市長 今後の施策を講じていくためには財源の確保だけでなく、市民の皆さんに人口減少やそれに伴う課題を見つめていただきたいと考える。

人口減少社会においては我慢をお互いに分かち合い、その我慢こそが将来、郡上の子が戻り、素晴らしいふるさとを築く希望につながるの思いで市政を担っていく方針である。

しかし、この考え方を実際の施策に展開させる痛みを伴う改革につながることであり、受け止めていただけるかどうかは市民の皆さんにかかっている。住民自治のあり方が問われる時代になる。本市が消滅可能性自治体から脱却し、次の20年を見据えた持続可能な市となるには、これまでとは異なり、市民の皆さんや議会の場で問題提起を行いながら一緒に考えていただくことを進めていきたい。

出生数減少



保育園送迎バス廃止の経緯は
送迎など従来の保育サー
ビスの維持は困難



田口健康福祉部長 今年4月より乗車率の低い北濃、たかす、たかす北、和良の小規模保育園においては通園バスを廃止した。一方、乗車率が比較的高い明宝、やまびこ園、みなみ園においては、運行ルートの見直しと利用料の値上げをすることで維持している。

明宝保育園は来年度から明宝中学校へ移転することで、利用者減が予測されるため、送迎バスは廃止の方向で検討しており、保護者会とも調整を始めている。他の2園についても令和10年度までに廃止の方向性の決定と保護者への周知をしていきたい。

保育士の確保が難しい現状では、早朝・延長保育を実施すると送迎バスへの保育士配置が困難になる。このような状況を踏まえ、市では、早朝・延長保育の体制確保を最優先とし、また、保育士の負担を軽減し労働環境改善を図るためにも、バス運行体制の見直しを行うこととした。



バスにのれなくなるの？



**今年国内で過去最多の
マダニ感染症への対策強化を**
注意すべきことを広報や
行政放送で周知を図る



山川市長 市内でウィルスは持つていなかったが、マダニに咬まれた件数は今年度18件あり増加傾向。医師会を通じ、各医療機関には初診時にマダニ感染症のことも留意していただくようお願いしていく。



フタトゲチマダニ
厚労省HPより

森林経営管理事業の進捗状況はいかがか
本事業は計画より遅れているのではないかと
画との乖離、その対策をお尋ねする

伊藤農林水産部付部長 意向調査から施業プランの作成までは概ね計画どおり進んでいるが、森林整備については、労務費の高騰などにより4地区72ヘクタールに留まった。予算の中で、本事業を進めるため、新たな境界明確化の手法を取入れ、発注方法も見直すなど、効率的、効果的な推進に努める。

「(仮称) 移住定住振興プロジェクト」について
廃校の校庭活用は

市長 まだアイデアだが、廃校の校庭を若い世代中心のニュータウンとして、検討を進めたい。



DX推進における生成AI活用状況は
生成AIに投げかけた質問は6000件(令和6年度)



生成AI活用の課題と問題点は

河合市長公室長 ①誤った情報生成のリスク②情報漏洩のリスク③著作権侵害のリスクなどがある。市では「生成AIのガイドライン」を作成し、利用上の注意を促すとともに個人情報への入力や抑制し生成AIに学習させないなどのリスク回避の機能を持ったシステムを利用している。生成AIをはじめとするDXツールの利用を促し業務の効率化を一層図りたい。(DXとは、デジタル技術を活用して企業や社会の生活を変革していくこと)

デジタル化による今後の事業への取組みは

山川市長 今までに「郡上市斎場予約システム」や「介護認定審査会のペーパーレス化」を行ってきたが、今後は「書かないワンストップ窓口」やスマートフォンアプリを利用した水道メーターの検針など先進地成功事例を研究していきたい。



AIの進化のイメージ



地球温暖化対策推進法に基づいた対策と取組みは
事務事業編を更新次第公表。ともに対策をすすめる。



遠藤環境水道部長 温対法に基づく事務事業編は、

これまで公表していなかったが、今後は公表する。昨年度の対象施設のCO₂排出量の削減率は、基準年に比して11.9%だった。市職員の取組みとして、休憩時間の消灯やPCの電源管理に努めており、職場の取組みとしては、事務機器や設備、公用車の購入など更新時にエコなものにしている。市民への普及啓発について、ケーブルテレビや広報誌などで更なる啓発を行う。

実行計画の協議会は、これまでに7回開催した。今後は年1回開催する予定である。

水銀灯、蛍光灯規制のLED化対策は

加藤総務部長 水銀灯はトンネル、体育施設に多く、トンネルは計画的にLED化を進めている。体育施設は、計画に基づく廃止施設は行わず、既存電灯の活用と使用頻度に応じ計画的に実施する。

蛍光灯は、管理する所管ごとに整備状況を調査した結果を踏まえ、計画的にLED化を進める。



水銀灯(下)と蛍光灯(上)



市民所有の不動産(山林など)の相続放棄に市の対応は
市は寄付を受け付けないが、自治会対応などを検討したい



加藤総務部長 国では、相続が発生したことを知った時から、3年以内に相続登記することを義務とし、理由なく行わなかった場合は、過料を課すとした不動産登記法の改正が、令和6年4月1日施行された。しかし、相続放棄が全国でも年々増加しており、本市でも増加傾向にある。

相続放棄に対する国の制度として、「相続財産清算人制度」があるが、市のような中山間地域では予納金納入など、本制度活用は難しい状況である。

山川市長 近年、未利用の土地を相続前に市に寄付を申し出る方もあるが、原則、寄付行為は受付けていない。まだ、私のアイデアの段階であるが、住民自治の観点から、自治会が認可地縁団体となり、地域の財産を一旦預かり、第三者に売買することで運営経費の一部にするなど、制度として運用するには検討が必要。

まずは、先祖伝来の土地が所有者不明とならないように一人ひとりが考えてほしい。



相続放棄申述書のイメージ



和田 樹典 議員

郡上おどりに対する募金、
通称「投げ銭」の活用は

踊り全般の運営費や支援
員への補助などに充てたい



郡上おどりサポーターズクラブについては

粥川商工観光部長 「郡上踊りサポーターズクラブ」は業務ではなく、人との関係作りを活動理念としている。「屋形曳き」から始まったが今後は活動の幅を広げていく予定であり、その活動について、期待している。

QR決済、投げ銭システムの導入については

商工観光部長 今回、初めての取組みとして行ったが、130万円余の善意をいただいた。これらは、踊り屋形の修繕や今後の更新にかかる費用などに充てていきたい。



郡上おどり投げ銭募金のようなす

車いすの運用と多目的トイレの設置は

商工観光部長 踊り会場でおける車いすのレンタルは実施していないが、今後、ニーズの状況をみながら実施の可能性など検討したい。

多目的トイレについては、必要性については承知しているが新たに設置することは困難と思われる。おむつ替えなどについては「赤ちゃんの駅」などにより対応していきたい。



北山 浩樹 議員

林道の舗装を含めた
一体的な整備の展望は

市民利用などの条件が合
えば、舗装と一体的な整備
を進めたい



林道整備、森林の利活用に対する市長の考えは

山川市長 森林は林業だけでなく、観光や教育などの分野で大きな役割を果たすと期待している。このため、市民の誰もが森林へアクセスできるよう、条件が合えば林道を舗装と一体的に整備したい。

さらに内ヶ谷ダムの湖面やその背後に広がる私有林などを観光、森林環境教育などのフィールドとして活用できないか、部局横断体制で研究していく。

内ヶ谷ダム完成イメージ
(参照：岐阜県HP)

指定管理者制度と公共施設の未来について

事業者選定の透明性と重視する点については

市長 指定管理者制度を導入しているのは60施設、このうち公募して決定している施設は2施設で、残り58施設は非公募による指定である。

公募により発生する諸問題に留意しながら非公募としている施設については、公募を検討していく必要がある。



みずのまり 議員

和良地区「はぎこ」の
保護活動は

市民の皆さんと共に取組
んでいきたい



山川市長 「わら川はぎこ調査隊」の皆さんが、ま

ずは「自分ごと」として認識を持ち、自主的に活動されていることに心から敬意を表す。

また、郡上高校や郡上北高校の生徒の皆さんも、この「はぎこ」が生息する地域をどのようにしていくべきか取組んでいる。

私自身も今年の春、研究会、シンポジウムに参加し、そこで多くの熱意ある方々が活発に議論されている様子を拝見した。

2年後には「日本オオサンショウウオの会」の大会が和良地区で開催される予定である。

文化財指定を受けて100年という節目である。

市だけでなく、和良の調査隊の皆さんだけでもなく、「私たち」として何をしていくべきか。市としても方針をしっかりと決め、教育委員会を担うとして、「はぎこ」への理解を深めることに市民の皆さんと共に取組んでいく。



@WARAOKOSHI
和良おこし協議会
公式Instagram



米の需給状況から見る今後の対策は

農村RMOによる取組みの支援を検討する



全国的な米不足問題から、市の現状と米生産に関わる市の将来的な水田維持と、農業対策はどのように考えているか

田代農林水産部長 市内の現状の水稻の耕作面積は約960haで、市内の需要は十分満たしている。しかし、将来は人口減少に加え、農家の後継者・担い手不足が懸念される。

また、高温対策も必要で、高温に強い品種の選定を進めている。

郡上産の米については、ふるさと納税の返礼品として重要な物品となっており、郡上産ブランド力を高め、農家の生産意欲の向上に繋げたい。

市が地域計画を進めるうえで、担い手不足、地域資源の保全など集落維持の課題に地域ぐるみで取組む仕組みとして、農村型地域運営組織（農村RMO）による取組みを大和町で検討されている。

地域ぐるみで考え、取組む事で課題を解決し、中山間地域を守っていく一つの方法であると考えている。



自治会の持続可能な運営について今後の対応は

デジタル化支援や集落支援員制度活用を検討する



自治会のデジタル化による負担軽減や役員の手不足への対応は

加藤総務部長 市から配布をお願いする文書は、今後スマホを活用したデジタル化を研究したい。不慣れな方へは、公民館講座などフォローしていく。市民協働センターでも、自治会独自のデジタル化を支援している。そして役員のなり手不足の対応として、国の「集落支援員」制度の活用も検討している。

自治会統合・再編の方向性は

山川市長 人口減少が進んでおり、統合や再編については、若者や女性、移住者の声を聞きながら、持続可能な自治会をみんなで考えていきたい。

指定管理者制度と公共施設の未来について

廃止した公共施設の活用は

市長 原則、「行政は過剰な資産は持たない」を基本姿勢に、市民の安全と財政負担軽減を図る方針である。



自治会・地区会アンケート結果報告



教職員の不祥事に関する説明は保護者にされているのか

教育委員会から保護者へ知らせてはいない



名古屋市で教職員不祥事が報道された。市では、保護者に何か説明はしているのか。国や県からの指導はあるか

熊田教育長 保護者への説明は、この盗撮事件だけを切り取って教育委員会からお知らせはしていない。県外での盗撮事件であり、郡上市教育委員会としては、市の先生方を信頼しているし、学校を信頼していないととられるような発信の仕方は考えていない。

国や県からの指導については、細部にわたって強い通知がきている。刑法等第一部改正法及び性的姿態撮影等処罰法の規定により、法律としても更に強化されている。

図書館について

雑誌購入を復活できないか

教育長 雑誌の購入について、現在の体制が不変のものとは考えていない。

購入の是非やどんな雑誌がふさわしいかなど皆さんの意見も聞きながら検討したい。



郡上市図書館本館



障がい者を対象とする日常生活用具給付事業の見直しは
経済的な支援や福祉向上
のための見直しを行う



日常生活用具給付事業を利用する市町村民税非課税世帯の自己負担の見直しは

田口健康福祉部長 県内21市のうち、郡上市を除く20の市で、市民税非課税世帯の基準額内の自己負担は0円となっている。令和6年度実績をもとに、非課税世帯の基準額内の利用者負担を免除すると、市の財政負担額は37万6000円の増と試算している。昨今、原材料価格の高騰や物流・人件費の上昇などが要因となって、物価が高騰しており、生活への影響は大きくなっている。低所得者への配慮の点からも、見直しが必要だと考える。山川市長 基準額における自己負担がなくなるよう、今後、予算措置を行う。

基準額の見直しを検討すべきでは

健康福祉部長 市では日常生活用具給付事業実施要綱が制定された平成26年から基準額は据え置かれている。近年の物価高騰もあり、障がい者の皆さんの負担軽減及び福祉向上を図る観点からも、見直しは必要だと考える。



郡上市HP 日常生活用具給付事業

クイズの答え《第85号出題》

ご応募いただきありがとうございました。応募総数は113件でした。
いただいた貴重なご意見やご感想は、議員及び執行部が全て拝読しております。

正解は **正解は 問1 ② 3億4278万円 問2 ③ 郡上市 問3 ② 16回目**

抽選の結果、当選された10名の方には、郡上市商品券をお贈りいたしました。
なお、ご応募いただいた方の個人情報は、目的以外には一切使用いたしません。

皆さんからの声

クイズにご応募いただいた方からのご意見・感想の中から、一部を要約して紹介します。

● 郡上市も高齢化して、人口減少に歯止めがかからない状況で財政面でも厳しいものがあるのがわかり、その中で議員の方たちがより良い郡上にしようと努力しておられてありがたいです。

大和 60歳

● 郡上おどりの募金活動をテレビで知りました。少しですが、募金してきました。八幡 14歳
● 議会でのどんな問答がされているのか、いつも興味深く読ませていただいております。丁寧な議会のやりとり我感到しています。

八幡 68歳

● 議会で出たいろんな分野内容が分かりやすく載っていて、とても読みやすかったです。自分が興味のある分野以外のことも読んで、知るきっかけとなりました。
● 議員さんの顔写真付きで見やすいです。

和良 41歳

いまは結婚して郡上市に住

んでいませんが、この議会だよりで郡上市の情報が分かりありがたいです。

● どの世代の市民も暮らしやすい郡上市になってほしいです。郡上市がより良い市になりますように。 市外 29歳
● 若い人達が郡上市の未来のために真剣に話し合い取り組む姿にこれからの明るい未来が期待できます。

子育てしながらも働きやすい環境をみんな考えていかなくてはと思っています。

まだまだ郡上には魅力がたくさんあると思うので頑張ってくださいです。 高鷲 42歳

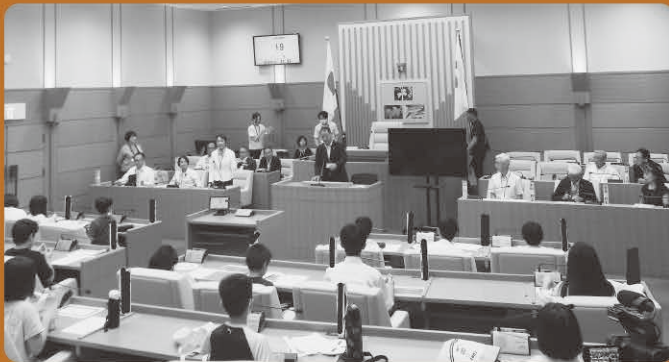
● 私は家の近くにある図書館をよく利用するので近くの図書館が無くなるのは困ります。

表紙の高鷲中学校の取組みは地域のひととの交流があり、とてもすごいです。 美並 14歳
● 中々良いクイズですね。これからもポイントを押さえたクイズをお願いいたします。

八幡 74歳



郡上市議会 夏休みこども議場見学会を開催しました!



8月20日に次世代の担い手育成と主権者教育の一環として、「夏休み こども議場見学会」開催しました。

郡上市議会初の試みとなるこの見学会では、子どもたちに議会を身近に感じていただくとともに、その仕組みや役割について楽しく学んでいただくことを目的として、議会探検や○×クイズ、質問コーナーを行いました。

オリエンテーション



議場見学会のお約束やルールについて確認しました

議会探検



説明を聞きながら色々な会議室を回りました

○×クイズ



全問正解をめざして議会に関するクイズに挑戦!

質問コーナー



こども議員として気になることなどを質問しました

修了証授与



議長からこども議場見学会の修了証が授与されました

～こどもたちの感想～

- 議長の本当に議会をしているときのような言い方が、面白かったです。
- 議員の話を聞いて、郡上市の自然を大切にしたいと思いました。
- 今は郡上から人が少なくなっているけど、議会ではその問題をどう解決するのかなどを考えてくれているので、自分たちでどうしていくのかを調べて、少子化問題を止めていけるといいなと思いました。

クイズに答えろ

QUESTION & ANSWER

「郡上市共通商品券」をゲットしましょう!

正解者の中から、抽選で10名の方に郡上市商品券をプレゼントします。

Q1

令和6年度郡上市一般会計歳出の総額は?

- ① 約290億円 ② 約299億円 ③ 約311億円

Q2

「夏休みこども議場見学会」で実施しなかったことは?

- ① ○×クイズ ② じゃんけん大会
③ 質問コーナー

Q3

国へ提出した意見書は何についての課税免除制度の継続を求めた?

- ① 軽油引取税 ② 灯油引取税 ③ 重油引取税

ヒントはこの議会だよりの中にありますので、よく読んで探してください!

応募方法

- 📌 クイズの答え
- 📌 郵便番号
- 📌 住所(番地まで)
- 📌 氏名
- 📌 年齢



をご記入いただき、はがき、ファックス、二次元コードのいずれかからご応募ください。

あて先

〒501-4297

郡上市八幡町島谷228番地

郡上市議会 議会事務局 FAX67-1821

締切: 令和7年11月25日(火)

※当日消印有効

※当選者は商品券の発送をもって発表に代えさせていただきます。
※いただいた個人情報は目的以外に使用しません。

ご応募に合わせて皆さんの声もぜひお寄せください。

お寄せいただいたご意見の一部について内容を要約し、無記名で次号に掲載させていただきます。



暑い、暑い、暑い夏が終わりました。日増しに寒さが増してきました。この冬は大雪にならないことを願います。

この夏休みに、「こども議場見学会」を行いました。19名の参加を頂き皆さん楽しかったという感想を頂きました。参加しました議員は心より感謝し喜んでいますが、本当に有難うございました。

リニューアルしました「議会だより」はいかがでしょうか。編集後記も横書きとなりました。少しでも読みやすく、議会の活動を身近に感じて頂ければ嬉しく思います。今後も皆様の声を生かしながら、より良い紙面づくりを目指してまいりますのでよろしくお願い致します。

田代 まさよ

●委員長 野田かつひこ
○副委員長 本田 教治
○委員 田代まさよ
北山 浩樹
有井 弥生
和田 樹典
みずの まり
山田 智志

広報広聴
特別委員会



12月定例会の予定

月	日	曜日	会議の内容
11月20日	木		議会運営委員会・全員協議会
11月26日	水		総務常任委員会協議会
11月27日	木		産業建設常任委員会協議会
11月28日	金		文教民生常任委員会協議会
12月2日	火		開会
12月3日	水		予算特別委員会・本会議
12月8日	月		
12月9日	火		一般質問
12月10日	水		
12月12日	金		総務常任委員会
12月15日	月		産業建設常任委員会
12月16日	火		文教民生常任委員会
12月18日	木		議会運営委員会
12月19日	金		閉会・全員協議会

※開会時間は原則9時30分です。
日程・時間に変更になる場合があります。

